

山口県日本海海区漁業調整委員会委員の委員候補者の推薦・応募の結果

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
漁業者又は漁業従事者委員候補	1	水津 克紀	78	男	漁業	平成元年～ 一本釣り漁業に従事 平成 20 年 山口県漁協奈古支店運営委員 平成 25 年～ 山口県漁協奈古支店運営委員長	一本釣	31 年	○	阿武萩漁業共励会 会長 長岡利憲	会員の連合協同組合の発達を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	水産に関する経営及び技術の向上、会員の知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道徳の昂揚並びに魚 y 号秩序の確保、会員相互の親睦・融和、その他目的達成上必要と思われること	山口県漁協はぎ統括支店 正組員 812 名	平成元年に一本釣り漁業に従事し、地域の一本釣り漁業者の中心的存在となる。一本釣り連合会会長を長く努め、一本釣りの操業実態や各種漁業の漁場利用調整に関して豊富な知識と経験を有している。平成 20 年から奈古支店運営委員、平成 25 年から同支店運営委員長に就任。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業の発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	2	久原 隆義	72	男	漁業	昭和 38 年～ 一本釣り漁業に従事 平成 3 年 須佐漁協監事 平成 8 年 須佐漁協理事 平成 13 年 山口はぎ漁協須佐支所運営委員 平成 17 年 山口県漁協須佐支店運営委員 平成 19 年～ 山口県漁協須佐支店運営委員長 平成 20-23 年 山口県漁船保険組合代表監事 平成 24-27 年 日本海海区漁業調整委員会委員 R1～ 山口県 JF 共済全利用推進委員会委員長	一本釣	57 年	○	阿武萩漁業共励会 会長 長岡利憲	会員の連合協同組合の発達を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	水産に関する経営及び技術の向上、会員の知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道徳の昂揚並びに魚 y 号秩序の確保、会員相互の親睦・融和、その他目的達成上必要と思われること	山口県漁協はぎ統括支店 正組員 812 名	昭和 38 年から漁業に従事。平成 3 年から須佐漁協監事を 5 年、理事を 6 年努め、平成 19 年から現在に至るまで山口県漁協須佐支店運営委員長として地域漁業者の中心的存在として長年活躍。イカー一本釣り漁業の操業実態や各種漁業の漁場利用調整に関して豊富な知識と経験を有する。地元漁業者からの信頼も厚く指導力もありリーダー的存在。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	3	吉村 正義	78	男	漁業	昭和 32 年～ はえ縄漁業に従事 平成 17 年 山口県漁協越ヶ浜支店運営委員長 平成 27 年 山口県漁協はぎ統括支店副運営委員長 山口県漁協理事 平成 24 年～ 日本海海区漁業調整委員会委員	はえ縄	63 年	○	阿武萩漁業共励会 会長 長岡利憲	会員の連合協同組合の発達を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	水産に関する経営及び技術の向上、会員の知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道徳の昂揚並びに漁業秩序の確保、会員相互の親睦・融和、その他目的達成上必要な事項	山口県漁協はぎ統括支店 正組員 812 名	昭和 32 年からはえ縄漁業に従事。平成 17 年から山口県漁協越ヶ浜支店運営委員長として現在に至るまで地域漁業者の中心的存在であり、また山口県延縄漁業協議会会長として長年に渡り活躍。平成 27 年から山口県漁協はぎ統括支店副運営委員長及び山口県漁協理事としても活躍しており特にフグはえ縄の他県との操業調整においても中心的存在。現在も海区漁業調整委員であり、適任である。

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
	4	佃 幸治	72	男	漁業	昭和 39 年～ 一本釣り・建網漁業に従事 平成 11 年 見島漁協理事 平成 13 年 山口県漁協見島地区副運営委員長 平成 30 年～ 山口県漁協見島支店運営委員長	一本釣り 建網	56 年	○	阿武菘漁業共励会 会長 長岡利憲	会員の連合協同組合の発達を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	水産に関する経営及び技術の向上、会員の知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道徳の昂揚並びに魚 y 号秩序の確保、会員相互の親睦・融和、その他目的達成上必要な事項	山口県漁協はぎ統括支店 正組員 812 名	昭和 39 年から漁業に従事。見島漁協理事や山口はぎ漁協では地区運営委員を務め、平成 30 年から山口県漁協見島支店運営委員長を務め、地区漁業者の中心的存在。特に一本釣り・建網漁業に長年従事しており、操業実態や漁場利用状況に豊富な知識と経験を有する。地区漁業者の信頼も厚く漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	5	藤田 昭夫	78	男	漁業	昭和 36 年～ はえ縄漁業に従事 昭和 49 年 野波瀬漁協運営委員 昭和 58 年 野波瀬漁協理事 平成 12 年 山口ながと漁協理事 平成 17 年 山口県漁協野波瀬支店運営委員長 平成 25 年 山口県漁協長門統括支店運営委員長 山口県漁協理事	はえ縄	59 年	○	大津水産共励会 会長 藤田昭夫	会員の連合協同組織の強化を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道徳の昂揚並びに漁業秩序の確保、会員の親睦、その他目的達成上必要な事項	山口県漁協ながと統括支店 正組員 561 名	昭和 36 年からはえ縄漁業に従事。野波瀬漁協では理事を務め、平成 25 年から山口県漁協長門統括支店運営委員長を務めており、地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特にはえ縄漁業では操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	6	南野 市治	73	男	漁業	昭和 39 年～ 一本釣り漁業に従事 平成 7 年 仙崎漁協監事 平成 12 年 仙崎漁協理事 平成 15 年 山口ながと漁協仙崎支店運営委員 平成 25 年～ 山口県漁協仙崎支店運営委員長 平成 27 年～ 山口県漁協長門統括支店副運営委員長 山口県漁協理事	一本釣り	56 年	○	大津水産共励会 会長 藤田昭夫	会員の連合協同組織の強化を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道徳の昂揚並びに漁業秩序の確保、会員の親睦、その他目的達成上必要な事項	山口県漁協ながと統括支店 正組員 561 名	昭和 39 年から一本釣り漁業に従事。仙崎漁協では理事、平成 27 年から山口県漁協長門統括支店副運営委員長を務めており、地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に一本釣り漁業では長門一本釣り連合会北部会長として操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
	7	濱谷 正	70	男	漁業	昭和 41 年～ 漁業に従事 平成 21 年 山口県漁協掛淵支店運営委員 平成 24 年 山口県漁協掛淵支店副運営委員長 平成 30 年～ 山口県漁協掛淵支店運営委員長	棒受網	54 年	○	大津水産共励会 会長 藤田昭夫	会員の連合協同組織の強化を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道徳の昂揚並びに漁業秩序の確保、会員の親睦、その他目的達成上必要な事項	山口県漁協ながと統括支店 正組員 561 名	昭和 41 年から漁業に従事。平成 30 年から山口県漁協掛淵支店運営委員長を務めており地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特にえ縄漁業や棒受網漁業は操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	8	濱本 幾男	78	男	漁業	昭和 45 年～ 漁業に従事 平成 7 年 豊浦町漁協理事 平成 16 年 豊浦町漁協組合長 平成 17 年～ 山口県漁協豊浦統括支店運営委員長 平成 20 年～ 山口県漁協理事	採介藻	50 年	○	豊浦郡水産共励会 会長 森澄一實	組合員の漁業生産を高揚するため、研究及び調整し、併せて相互の親睦を図る	健全な漁村の育成、漁協並びに系統機関への研究調査の依頼・進言陳情、会員相互の研究、情報交換、親睦等、その他会員が必要と認める事項	山口県漁協豊浦統括支店、角島漁協、黒井漁協 正組員 623 名	昭和 45 年から採介藻漁業に従事。平成 16 年から豊浦町漁協組合長、平成 17 年から山口県漁協豊浦統括支店運営委員長、平成 20 年から山口県漁協理事を務めるなど地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に採介藻漁業や一本釣漁業の操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。日本海海区漁業調整委員会会長や島根山口連合会区漁業調整委員会委員、響灘連合海区漁業調整委員会委員として長年活躍。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	9	森澄 一實	73	男	漁業	昭和 38 年～ 採介藻漁業に従事 平成 10 年 角島漁協理事 平成 13 年～ 角島漁協組合長 平成 12 年～ 日本海海区漁業調整委員会委員 平成 13 年～ 響灘連合会区漁業調整委員会委員	採介藻	57 年	○	豊浦郡水産共励会 会長 森澄一實	組合員の漁業生産を高揚するため、研究及び調整し、併せて相互の親睦を図る	健全な漁村の育成、漁協並びに系統機関への研究調査の依頼・進言陳情、会員相互の研究、情報交換、親睦等、その他会員が必要と認める事項	山口県漁協豊浦統括支店、角島漁協、黒井漁協 正組員 623 名	昭和 38 年に採介藻漁業に従事。平成 13 年から角島漁協組合長を務めるなど地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に採介藻漁業や一本釣漁業の操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有し、また日本海海区漁業調整委員会委員や響灘連合海区漁業調整委員会委員として長年活躍。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
														もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	10	西島 正明	76	男	漁業	平成 12 年～ 建網漁業に従事 平成 18 年～ 山口県漁協豊浦統括支店運営委員 平成 24 年～ 山口県漁協豊浦統括支店運営委員長	建網	20 年	○	豊浦郡水産共励会 会長 森澄一實	組合員の漁業生産を高揚するため、研究及び調整し、併せて相互の親睦を図る	健全な漁村の育成、漁協並びに系統機関への研究調査の依頼・進言陳情、会員相互の研究、情報交換、親睦等、その他会員が必要と認める事項	山口県漁協豊浦統括支店、角島漁協、黒井漁協 正組員 623 名	平成 12 年に建網漁業に従事。平成 18 年に山口県漁協豊浦統括支店豊浦支店運営委員、平成 24 年に山口県漁協豊浦統括支店豊浦支店運営委員長を務め、地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に採介藻や建網漁業の操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有し、山口県漁協の資格審査委員会委員長を務める実績もあり、県内の漁業実態にも精通。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	11	宇都宮 康彦	61	男	漁業	昭和 9 年～ はえ縄漁業に従事 平成 18-23、27-29 山口県漁協伊崎支店運営委員 平成 30 年 山口県漁協伊崎支店運営委員長 令和 2 年 下関外海漁業共励会監事 平成 15-19 山口県漁協伊崎支店青壮年部部長 平成 24-29 山口県漁協青壮年部連合会下関支部長 平成 24～ 山口県漁協青壮年部連合会副会長	はえ縄	23 年	○	下関外海漁業共励会 会長 廣田弘光	旧下関市外海地区の山口県漁協の各支店の相互間の連絡協力を図り、水産振興と漁業の発展を期する	漁業の調整と漁場の管理、融和と協調で漁場の総合利用、漁場造成と繁殖保護、栽培漁業の推進	山口県漁協の旧下関市外海地区の 9 支店 正組員 230 名	平成 9 年にはえ縄や採介藻漁業に従事。平成 18 年に山口県漁協伊崎支店運営委員、平成 30 年から同支店運営委員長を務めるなど地域漁業者の中心的存在として活躍。はえ縄漁業や採介藻漁業の操業実態を熟知しており、沿岸の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。長年青壮年部のリーダーとして活動し、地域内外の若手漁業者の相談役であり様々な問題を解決する知識を備えている。平成 30 年から下関外海漁業共励会メンバーとして地域の漁業調整にも携わっている。行動力と高い見識により地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者										推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由	
学識経験委員候補	1	仁保 宣誠	69	男	団体役員	昭和 52 年 萩越ヶ浜漁協入組 平成 8 年 萩越ヶ浜漁協参事 平成 13 年 山口はぎ漁協入組 平成 17 年 山口県漁協入組 平成 18 年 山口県漁協参事 平成 24 年 山口県漁協専務理事 平成 28 年～ 日本海海区漁業調整委員会委員 平成 30 年～ 山口県漁協相談役	—	—	—	山口県漁業協同組合 代表理事組合長 森友 信	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、以て組合員の経済的社会的地位を高める	水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営及び技術に関する指導 等	正組合員 3,140 名	萩越ヶ浜漁協、山口はぎ漁協、山口県漁協と長年の指導事業経験を通じ、種苗放流や資源管理の実践経験が豊富。参事、専務理事を務め漁業経営や漁業調整にも精通。平成 24 年から沿岸漁業と大忠型まき網漁業の漁業調整に沿岸代表として重要な尽力。平成 27 年から山口県太平洋クロマグロ資源管理協議会会長を務めるなど、山口県漁業の資源管理や漁業経営に関する専門家として長年活躍。漁業者からの信頼も厚い。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。	
	2	中島 均	64	男	法人管理職	昭和 54 年 山口県庁入庁 平成 23 年 山口県農林水産部水産振興課長 平成 26 年 山口県農林水産部審議監 平成 27 年 山口県農林水産部理事 平成 29 年 山口県庁退職 平成 29 年～ 日本海海区漁業調整委員会副会長	—	—	—	山口県漁業協同組合 代表理事組合長 森友 信	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、以て組合員の経済的社会的地位を高める	水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営及び技術に関する指導 等	正組合員 3,140 名	昭和 54 年に山口県庁に水産技術職として採用。県内はもとより福岡県や島根県などの隣接県も含めた漁業操業や資源保護に関する漁業調整に携わってきた。トラフグやアマダイ、キジハタ、クロマグロなど山口県日本海側の重要魚種について漁業者等と連携し、新たな資源管理の枠組みを主導するなど資源管理や漁業制度、漁業経営に豊富な知識と経験を有する。平成 29 年から日本海海区漁業調整委員会副会長、響灘連合海区漁業調整委員会委員、日本海・九州西広域漁業調整委員会委員を務めるなど資源管理や漁業経営の専門家として長年活躍。漁業者からの信頼も厚い。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。	
	3	若林 敏江	55	女	大学教員	平成 13 年 東京水産大学技術補佐員 平成 14 年 科学技術振興事業団 重点研究支援協力員（遠洋水産研究所）	—	—	—	山口県漁業協同組合 代表理事組合長 森友 信	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、以て	水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する	正組合員 3,140 名	ケンサキイカやスルメイカを中心とした山口県日本海側の重要魚種の資源変動や生態、来遊状況、漁場開発などの資	

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
						平成 19 年 遠洋水産研究所 外洋資源部外洋いか研究室 研究等支援職員 平成 25 年 東北区水産研究所 資源海洋部 浮魚いか資源グループ研究等支援職員 平成 26 年 水産大学校海洋生産管理学科 准教授 平成 31 年～ 水産大学校水産学研究科 海洋生産管理学科併任 教授 平成 26 年～ 日本海海区漁業調整委員会委員					組合員の経済的社会的地位を高める	経営及び技術に関する指導 等		源管理の研究、さらにはいかつり漁業の経営分析やイカ加工品の流通の研究に長年携わっており、豊富な科学的知見を有し、山口県日本海側の漁業に精通。平成 26 年から日本海海区漁業調整委員会委員を務めるなど、本県漁業の資源管理に関する専門家として長年活躍。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
中立委員候補	1	近本 佐知子	45	女	弁護士	平成 13 年 弁護士登録 平成 23 年 山口県弁護士会副会長 平成 30 年 山口県弁護士会監事 平成 16 年 日本海海区漁業調整委員会委員	—	—	—	山口県弁護士会 会長 上田和義	弁護士及び弁護士法人の使命及び職務にかんがみ、その品位を保持し、弁護士及び弁護士法人の事務の改善進捗を図るため、会員である弁護士及び弁護士法人の指導、連絡及び監督に関する事務を行う	会員である弁護士及び弁護士法人の指導、連絡及び監督に関する事務	山口地区、下関地区、周南地区、宇部地区、岩国地区、萩・長門地区 合計 179 名 法人会員 18 法人	平成 16 年から日本海海区漁業調整委員会に就任し、漁業関係法令の解釈や具体的運用などについて長年携わっていることから、漁業に関して漁業現場の理解と豊富な知見を有する。本会においても平成 23 年度副会長、平成 30 年度監事など重要な役割を務めるなど長年活躍。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向けて中立委員としての活動に高い意欲を持っており、公平・公正な立場で積極的な発言が期待できることから適任である。